

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

第3回総合計画審議会

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
42	人口 ビジ ョン	(人口ビジ ョン)	人口ビジョンでは平成52年の合計特殊出生率2.07を目標としているが、それは国が目標とする国の施策が有効に働いた場合の値であり、市が単独で施策を打つことでさらなる達成ができるのではないかと。合計特殊出生率2.07は、国の施策、つまり外的要因が多分に作用する値であって、国と同様の目標値にすると、市の独自施策部分がどのように反映されているのかわかりにくい。	○合計特殊出生率の向上については、国と地方が一体となつて、若い世代の就労・結婚・子育ての希望をかなえる取組みを推進することにより実現するものであると考えます。そうした考えのもと、国の「長期ビジョン」において示された合計特殊出生率2.07を、相当高いハードルであると認識しつつ、市が人口推計を行ううえで目標とする、一つのメルクマークとして設定しています。	末下 委員
43	全体	(総合戦略)	「泉州の中の和泉市」として考えたとき、堺市からの人口流入が多い状況（関係が深い）を考えると、堺市の施策等の動向等を考慮した計画内容にすべきではないか。	○施策を推進するうえで、近隣市の動向を把握することは重要であると認識していますが、総合戦略の策定については、国や府の総合戦略を踏まえて、各市町村ごとに策定することを求められていることから、基本的には、近隣市の総合戦略や施策の動向を考慮して策定する重要性は低いと考えます。	松田 委員 (議 会)
44	全体	(総合戦略) K P I 等	人口ビジョンでも若者たちが市外に出て行かないようにしたい、子どもを産み育てる環境の充実を謳っているが、総合戦略に記載されているその具体策や目標数値は堅実な内容。実現もできない夢物語を書いても意味がないが、展望として大阪一、日本一のまちを目指すような活力があることが読み取れるような文言を盛り込めないか。	○総合計画における「基本構想」の策定が義務付けされた1969年当時、人口が右肩上がりに増加する時代において、総合計画は急激な地域経済社会の変動を踏まえ、都市インフラ整備等を計画的に推進することを役割としていました。 ○しかしながら、少子高齢化・人口減少社会が本格化し、本市においても、これまでの総合計画のように20万人を想定人口とすることが現実的に困難な状況となっており、第5次総合計画は、人口が減少することを踏まえて策定する、初めての総合計画です。	松田 委員 (議 会)
45	全体	総合計画 全般	第4次総合計画では、20万都市を目指すとしていたが、人口ビジョンを見ると、人口推計の結果、今後人口が減少するとある。推計結果を受けての市の考え方が見えない。	○そのことから、単に施設整備を推進するだけではなく、既存のストックをいかに活用するのか、または統廃合していくのかを考える「ファシリティマネジメント」のほか、人口減少に歯止めをかける視点やこれまで重視していなかった観光分野に着目した施策を盛り込んだ計画となっています。	末下 委員

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

第3回総合計画審議会

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
46	全体	総合計画 全般	現在の社会状況の中で、あまり大きな夢を掲げられないのは十分承知しているが、印象として、夢がない。UR(都市再生機構)の開発が終息すれば徐々に人口が減少していくことはやむをえない。しかし、10年というスパンで見ていく計画であるので、現状維持ということではなく何らかの方策によって、和泉市が発展していくための夢のある展望を描く部分を盛り込めないか。	○なお、今後の10年を見据え、 ・(仮称)生涯学習大学の開講(重点施策09) ・(仮称)和泉市農業振興研究施設の整備(重点施策21) ・宿泊施設の誘致(重点施策24) ・ミュージアムタウン構想の推進(重点施策24) ・新病院の建設(重点施策25) など、これから新たに取り組む施策のほか、現在取り組んでいる施策の充実を図るための方向性を示した計画となっています。	末下委員
47	全体	総合計画 全般	総合計画は財政的な制約はなく、今後の和泉市を考えていく上で、新しい展開を自由に創造できる部分があると考えていたものの、そういった部分が中々見えない。実現もできない夢物語を書いても意味がないが、展望として大阪一、日本一のまちを目指すような活力があることが読み取れるような文言を盛り込めないか。		松田委員(議会)
5	戦略6	年齢階級別労働力について	女性の労働力率が低いことが気になる。その背景を丁寧に分析し、対策を考えていただきたい。	○分析 本市の「男女共同参画に関する市民意識調査(H25実施)」において、「平日(または仕事がある日)において、家事・育児・介護に携わる時間が1時間以上の人の割合」は、女性は70%を超えているのに対し、男性は15%にとどまっていることから、ワーク・ライフ・バランスが推進され、男性の家事・育児への参加が促進される必要があると思われます。今後の施策推進とあわせて、さらなる分析も行います。	村上委員
5の2	戦略P6 総計P19	(4)年齢階級別労働力率の状況	「本市においては、高齢者や女性の労働力率の向上が、地域経済の活性化につながる可能性を有していると考えられます。」とありますが、元気な高齢者や女性が働ける環境づくりの具体化やサポート体制はありますか？	○対応策 (企業向け) ・和泉商工会議所の会員企業や和泉市企業人権協議会の加入企業に対し、ワーク・ライフ・バランスの推進や育児休業制度等の確立について啓発実施 (個人向け) ・再就職及び起業等を希望する人を対象に、再就職に向けた資格取得講習会の開催や、コミュニケーションスキルを身に付けるセミナー、企業セミナー等多様な働き方に対応出来るセミナーの実施	佐藤委員

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

第3回総合計画審議会

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
6	戦略 7 総計 22	戦略 <第3節>まち づくりの基本方 針 総計 第3章 まちづ くりの基本方針	<p>⇒ 変更、全文記載</p> <p>少子高齢化・人口減少社会が進展する今日において、将来も活力ある都市であるためには、人口と産業の集積が不可欠です。東京一極集中からの分散化の受け皿である大阪市近郊である強みを考慮し、本市が持つ人口と産業の集積の優位性を活かしつつ、時代とともに歩む先進性、革新性を積極的に取り入れることが重要です。この状況を踏まえ、本市の総合力を結集し「融合力のある都市開発の推進」と住みやすさと多様な文化遺産を軸に他の地方都市にも呼びかけ「定住志向の向上と交流人口の拡大」に取り組み、存在感ある都市づくりをめざします。</p> <p>(1) 融合力のある都市開発の推進⇒全文追加 <u>いわば、逆流の中で、人口と産業の集積を維持増大させることは並大抵ではありません。自律的な世代の融合、職住の融合、田舎と都市機能の融合、新旧の融合などに知恵を絞り総合力で地方都市の限界に挑みます。</u> <u>一方、本市のもつ強み、弱みと他の地方都市の強み、弱みとの融合や連携などによる新しい交流と地域課題の相互解決をはかり、あらゆる面での好循環の枠を拡大してまいります。</u></p> <p>(2) 定住志向の向上と交流人口の拡大⇒原文の趣旨そのまま</p> <p>(3) 知名度の向上・・・全文追加。 <u>「トリヴェール和泉」「テクノステージ和泉」を中心とした宅地開発・商工業の集積やバランスの良い人口構成、大阪都心や関西国際空港へのアクセスの良さ、利便性と自然環境の融合などの優位性を積極的に他の地方都市に発信し、全国レベルでの知名度の向上に努めます。</u></p>	<p>○ご意見と同様の趣旨については、総合計画（案）の第3章第2節のまちづくりの視点（P23）において、「人」「資源」「世代」をつなぐとして、地域や世代の融合や交流、歴史や自然などの固有資源の融合等について記載しておりますので、当該部分を総合戦略に盛り込みたいと考えています。</p> <p>○知名度の向上は、総合計画（案）重点施策35「市民の信頼に応え、都市経営を支える行財政運営」における「和泉シティプロモーション事業の推進」において、取り組みます。</p> <p>○「基本方針」や「まちづくりの視点」をはじめ、本計画（案）については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11名の学識者で構成される学識専門部会 ・多数の市民や桃山学院大学生に参加いただいた市民懇談会 ・市特別職や部長で構成される策定委員会 ・若手市職員が参加したワークショップ <p>での議論等を経てきたもので、ご意見のとおり、数多くの外部・内部の方の意見や知恵を基に策定してきたものです。</p>	菊池 委員
6					

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

第3回総合計画審議会

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
6			<p>この部分は、当該総合戦略及び総合計画の肝になる思い、知恵を絞って全文の変更を提案した。</p> <p>国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で繰り返し強調されている「創生」を具現化するため、基本的方針や考え方こそ、外部・内部の知恵を集めて考え、打ち出すべきもの(再考)総合計画(案)でも同趣旨</p>		
7	<p>戦略 8</p> <p>総計 26</p>	<p>戦略 ＜第4節＞総合戦略における「まちづくりの目標」</p> <p>総計 第4章 将来都市像＜第1節＞めざす「将来都市像」と「まちづくりの目標」</p> <p>総計 第4章 将来都市像＜第1節＞めざす「将来都市像」と「まちづくりの目標」</p>	<p>⇒ 一部変更</p> <p>(1) 子どもたちの笑顔があふれ、健康で文化的な、人にやさしいまち</p> <p>(2) 安らぎを感じながら生活を送ることができる、安心を実感できるまち</p> <p>(3) 世代・地域を越えて、様々な交流が生まれるまち</p> <p>(4) 変化の実感が少しずつ感じられ、次世代の人たちが期待を持てるまち</p> <p>(5) 知名度も上がり市民が誇りを感じるまち</p> <p>総合計画(案)でも同趣旨</p>	<p>○5つのまちづくりの目標は、地方創生の趣旨と合致する市のシティプロモーションの観点に加え、市民アンケートを踏まえ取り組む必要性の高い施策を把握した上で、設定しているため、原案通りとさせていただきたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションの観点 <ul style="list-style-type: none"> ①定住、②にぎわい(来訪、ビジネス) ・アンケート結果の強化すべき分野 <ul style="list-style-type: none"> ③安全・安心(災害の備え)、 ④支えあい・協働(地域住民の子育て・教育へのかかわり、人権尊重のまちづくり) ・⑤行政分野 <p>○しかしながら、ご指摘の内容についても必要な視点であると思われまことから、総合計画(案)の将来都市像「めざす都市イメージ」(P31)において、盛り込むことを検討いたします。</p>	<p>菊池委員</p> <p>菊池委員</p>

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

第3回総合計画審議会

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
13	戦略 10	I (1) 結婚・ 出産の希望をか なえる環境づく り	<具体的な取組み> に項目追加 ○3世代同居・近居の支援を推進する ○家族の協力を得るための男性の家庭進出を支 援	○施策の方針を変更し、新たな取組みを追加します。 (方針) ◎出産を希望する人が、安全・安心に妊娠、出産、子育てす ることができるようサポート環境や体制の充実を図り、若い世代 の転入を促進するとともに、合計特殊出生率の向上に取り組み ます。 (取組み) ◆身近な出産・子育てサポート環境づくり ○若い世代が希望する子ども数を実現するため、三世代同居・ 近居の支援を行うなど、家族が協力し合って出産・子育てでき る環境づくりに取り組みます。	菊池 委員
14	戦略 10	I (1) 結婚・ 出産の希望をか なえる環境づく り	・移住・定住を促進するために、移住・定住に 対する優遇制度の整備等の取組も他市では行わ れております。 ・当行も、それらの優遇制度と連携して、金利 の優遇を行う「親元近居・同居住宅ローン」を 取り扱っていますので、ご参考にして頂ければ と存じます。		岡本 委員
15	戦略 11	I (2) 子ども たちの健やかな 発育の支援	様々な健診と育児相談支援体制の充実を図ること で、病気の予防・早期発見とともに、虐待に ついては発見につながると思う。 出産から育児まで、総合的に行う「産後ケア」 についても、検討するべきではないか。	○ご指摘の「産後ケア」については、総合戦略(案) P 1 1 「基本目標 I ・基本的方向(2)」の具体的な取組み「育児相 談支援体制の充実」の中で取り組みます。 ○虐待については、総合計画重点施策03「きめ細やかな子育て サポート体制の充実」具体的取組「虐待等の早期発見・早期対 応」にて対応いたします。	石原 委員
16	戦略 11	I (2) 子ども たちの健やかな 発育の支援	<施策の方針> に項目追加 ○子どもたちの将来健康の向上に向け、積極的 な健康の土台作りの強化に努めます。 <具体的な取組み> に項目追加 ○心身の発達が旺盛な時期を中心に、体幹強化 策を構築・強化します。	○ご指摘の事項については、「心身の発達が旺盛な時期を中 心」とあるように、就学後の取組みと考えます。今回の総合戦 略(案)には、国の「総合戦略」に掲げられた方向性と合致し ないため掲げておりませんが、総合計画(案)では「重点施策 06」で学校教育の中での『体力の向上』を掲げており、健康づ くりに取り組むこととしています。	菊池 委員
16		16の事務局対応 方針への質疑	事務局対応方針への質疑 ○「国の「総合戦略」に掲げられた方向性と合 致しない」その主語は何か。また、合致しない 部分はどこか。	○主語は「学校教育にかかる施策」です。 ○本市の総合戦略にかかる取組みについては、「若い世代の就 職・結婚・子育ての希望を実現」や「地域の特性に即して地域 課題を解決する」など、国の総合戦略に即した内容としてお り、学校教育にかかる取組みについては、位置付けていません。 (第1回配布資料14参照) ○しかしながら、子どもの体力向上は重要な観点ですので、市 としては、総合計画の中で明確に位置付け、重点的に取り組 みます。(重点施策06)	菊池 委員

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
		16の事務局対応方針への質疑	<p>○心身の発達が旺盛な時期について、子どもたちの発育過程を就学前と後で区分することは大変無理があると考えます。</p> <p>○総合計画(案)「重点施策06」の「体力の向上」は就学後に限定しています。</p> <p>本市の児童・生徒の体力の現状は全国平均に達していない(第1章 定住の促進 第2節)現実があります。就学後の体力の向上に努力をしているが、全国平均も向上している。就学前の3～4年は勉学上の制約もほとんどなく、この時期を含めて体幹強化時期に充てることは、体力向上に有効である。</p> <p>追いつき追い越すためには、新しい試みに挑戦する必要があり、就学前の発育期の体幹強化策が将来健康・健康寿命向上に役立つと確信。学校教育の中での「体力向上」は、課題のすり替えである。</p>	<p>○体幹の強化の取組みについては、総合計画(案)重点施策06「社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり」(P46)の施策の方針で、「人間のあらゆる活動の源となる体力をしっかりと身につけるための取組みを推進」の中で検討していきたいと考えております。</p>	菊池委員
戦略11	I(2)子どもたちの健やかな発育の支援	「乳幼児健康診査受診率」の基準値93%、目標値94%のKPIは、アウトカムの指標になっていない。	<p>○具体的な取組みとして、「乳児健康診査の充実」を掲げていることから、KPIの一項目として掲載したものです。ご指摘を受け、新たにアウトカムの指標として、基本目標に「安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合」を追加しました。</p>		山本委員(議会)
17	戦略11	I(2)子どもたちの健やかな発育の支援	<p>○子どもたちの健やかな発育の支援</p> <p>○貧困家庭への支援の取組み</p>	<p>○子どもの貧困対策は、和泉市こども・子育て応援プランの他、子ども貧困対策推進法、子どもの貧困対策に関する大綱、大阪府子どもの貧困対策計画に基づき、関係部署で連携を密にとり対応します。</p> <p>○子育て何でも相談センターにおいて、乳幼児から18歳までの子育てや家庭内の問題についての相談やコーディネートを実施しています。</p> <p>○福祉、保健、教育、医療や地域団体等で組織した「要保護児童対策地域協議会」において、情報共有や連携強化を図ります。</p> <p>○生活困窮者自立支援制度において経済的・社会的自立を目指して、就労支援を中心に生活困窮世帯への自立支援を実施します(基本目標VI(1)P21生活支援体制の充実)</p>	石原委員 村上委員

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

第3回総合計画審議会

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
19	戦略 8, 12	<第6節>総合戦略の体系 II (1) 知識・経験を活かして地域に貢献する人材の育成	<第6節>総合戦略の体系 基本目標II (1) 知識・経験を活かして地域に貢献する人材の育成 ⇒ 「活かして」に変更 ⇒ 末尾に「と活用」を追加 (2) 活躍の場を拡大します(追加)	○「活かして」は、常用漢字ではないため、「生かして」を用いています。また、活用は、人材をもののように捉えられるおそれもあるため、原案通りの対応を考えています。 ○「活躍の場の拡大」にかかる取組みについては、「基本目標II・基本方向(1)」で推進することとしているため、新たな基本方向を定める必要はないと考えます。	菊池委員
19		19の事務局対応方針への質疑	「人材の活用」は、日常使用されています。活用がなければ地域に貢献する人材を育成してどうするのか。その人たちを活用し、活躍してもらわなければ<基本目標II>一人ひとりが輝くための生きがいつくり支援にならない。	○「人材の活用」という言葉は、日常使用されていますが、市としては、施策の実施にあたり、市民の活用を前提とするものではなく、生涯学習を通じて得た経験知識を生かした自主的な市民活動を支援することが重要であると考えます。	菊池委員
24	戦略 14	III (1) 定期的な健康チェックの推進	<具体的な取組み> 「さらなるがん予防施策の充実に取り組みます」 具体的にどのようにして、がん予防施策の充実に取り組むのでしょうか?	○個別の取組内容については、 ・生活習慣改善に関する教育・相談・啓発の推進 ・がんの早期発見・早期治療に向けての検診体制の充実(検診回数の増加等) ・個別通知や案内チラシの配布等による受診勧奨 等	山本委員 (医師会)
24		上記補足意見	「がんの早期発見・早期治療」が一番のがんの予防施策の重点なので、まず「がん予防施策の充実」という大項目があって、その下に「がんの早期発見・早期治療に努める」とか、あるいは、住民に対するがん予防の啓発や教育が並ぶので、その点をまとめ直した方が分かりやすい	(変更案)◆がん予防施策の推進 ○「和泉市がん対策推進条例」に基づき、保健医療機関や関係団体等と連携を図りながら、がん予防のための教育・相談・啓発に取り組みます。 ○がんの早期発見・早期治療につなげるため、各種がん検診の検診体制を充実させるとともに、受診勧奨等により受診率の向上に取り組みます。	山本委員 (医師会)
26	戦略 14	III (1) 定期的な健康チェックの推進	<KPI>がん検診受診率 平成31年度目標値29%の根拠は? 目標値が低すぎるのでは?	○「第2次健康都市いずみ21計画」の目標値29.0%(H30)を設定していましたが、H25からH30までの1年度分の伸び率の約3%を加えた数値に修正します。(29.0%-14.8%÷5年=2.84%) ○平成31年度の目標値を32%(29.0%+3%)に修正します。	山本委員 (医師会)

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

第3回総合計画審議会

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
27	戦略 14	Ⅲ（１）定期的な健康チェックの推進	基本目標Ⅲ『健康寿命の延伸を目指した健康づくりの推進』という観点からすれば、がん予防や生活習慣病だけでなく、高齢化社会に伴う認知症予防も追加してはどうか。特に認知症予防には、運動療法や食事療法、脳トレなど市民の健康づくりの推進という点で有効と思われる。	○ご意見を踏まえ、重点施策13「高齢者の積極的な社会参加と介護予防の推進」について、認知症予防や健康づくりの視点を盛り込み、「元気に生涯活躍できる環境づくりの推進」に見直したうえで、総合戦略の基本目標Ⅲ基本的方向(2)に追加します。	戸江委員
27 の 2		Ⅲ（１）定期的な健康チェックの推進	コール・リコールという個別勧奨の施策を充実させて、受診率が向上するような取組み	ご意見を踏まえ、修正しました。（項目24）	石原委員
27 の 3		Ⅲ（１）定期的な健康チェックの推進	4次総計では、高齢者のインフルエンザ予防接種の指標があった。高齢者の感染症対策の重点施策への位置づけについて	高齢者のインフルエンザや肺炎球菌の感染症予防については、定期接種となり、一部の公費負担を行い、実施しています。健康寿命の延伸という取組みにおいては、若いうちからの生活習慣病の予防や死因1位であるがん予防を重点施策と位置づけています。	岡委員
30	戦略 16	Ⅳ（３）産業として成立する農林業の確立	・施策の方針で儲かる農林業を示しているが、具体的な取り組み事項で農家には販売農家から自給的農家まで幅広い生産者層がありますので、それぞれの農家層への生産戦略・販売戦略を具体的に示すべきではないか。 例えばKPIで道の駅の農産物の販売額アップを掲げているが、出荷者の農産物生産拡大や、定年帰農者や自給的農家を生産農家に育成し出荷者の拡大につなげていく。	○定年帰農者や自給的農家の育成は、重要な課題と認識しており、農業関係機関との連携を積極的に行い、農林業の担い手育成（P17）において取り組みます。 ○下線の修正 (4)安定した雇用の創出と次代の担い手の育成 ◆農林業の担い手の育成 ○農林業関係機関及び各種団体と連携を図りながら、新規就業者確保・育成に向けた講座を開講し、意欲ある担い手を育成します。	松田委員 (JA)
30 の 2	戦略 16 総計 72	Ⅳ（３）産業として成立する農林業の確立	農業について、現状課題について何も明記されていない。例えば遊休農地のあり方などの一文を入れてもいいのではないか。	○総合戦略では、現状課題等を踏まえた、施策の方針と取組みのみを記載しており、現状課題に触れておりません。ご指摘の課題等については、総合計画の「（重点施策21）産業として成立する農林業の確立」の現状と課題の中に盛り込んでいます。	末下委員

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

第3回総合計画審議会

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
33	戦略 18	V (1) 地域資源を活用した観光産業の振興	・外国人観光客受け入れ態勢の強化について観光施設の整備や多言語化だけで十分でしょうか。	○本市では、近年まで、観光を促進する視点での取組みが少なく、現在、十分な整備が行えていない状況です。そのため、まずは、基本的な整備を早急に進める必要があると考えています。	村上委員
33	戦略 18	V (1) 地域資源を活用した観光産業の振興	Yahoo!等のアンケートでは、外国人観光客が一番求めるのは、施設の多言語化よりも、取り敢えずは無料Wi-Fiである	文言を追加・修正します ◆外国人観光客の受入れ体制の強化 ○近年増加している外国人観光客の誘致を図るとともに、市内観光施設において、多言語に対応した映像やパンフレットの作成、表示板の設置を推進するほか、無料公衆無線LANの整備など設備の充実を図ります。	村上委員
33 の 2			公衆無線 (Wi-Fi環境) の整備		今城委員
36	戦略 20	VI (1) 支援を必要とする人への相談支援体制の充実	認知症対策については、行政が重点的に取り上げ、力を入れているが、地域の協力が不可欠である。いわゆる「認知症サポーター」の養成を、今以上に力を入れるべきであろう。数値目標は、市民総サポーター（少なくとも小学生以上、上限なし）をめざすべきではないだろうか。～高齢者にやさしい地域づくり～	○当初案において、「和泉市認知症高齢者等SOSおかえりネットワークにおける見守り登録者数」を数値目標として記載していましたが、施策に合致していない目標であるため、今回、削除しています。 なお、認知症サポーター等の取組みについては、総合計画の重点施策32で取組みを推進します。	椎葉委員
39	戦略 22	VII (1) 地域における防災体制の強化	農地の多面的な役割で、市街化区域内での大規模災害発生時の避難施設は広範囲にわたり指定されていますが、農地を避難場所のほか、災害資材置き場や緊急車両駐車場等に活用する為、JAでは災害協力農地として、今後推進していきますので行政との連携もお願いします。	○ご指摘の趣旨について、総合計画(案)重点施策30「災害に強い環境づくりの推進」において、取組みとして追加します。 ○(文案)農地を避難空間や災害復旧用資材置場等として利用するため、関係機関と協力し、防災農地の活用に取り組ま	松田委員 (JA)
41	戦略 23	VIII (1) コミュニティの活性化と担い手の育成	地域の担い手の高齢化等により、一律に施策の実施・維持が難しいところもある。地域力低下に対する取組みはあるのか。	○町会・自治会への加入促進に向け、町会への加入促進のパンフレットを刷新し、転入、転居の際に配布、加入の働きかけを行うとともに、宅地建物取引業協会や不動産協会へパンフレット配布依頼を行っています。	石原委員

資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見

第3回総合計画審議会

NO	頁	箇所	内容	事務局 対応方針	
48	57	(重点施策13) 高齢者の積極的な社会参加と介護予防の推進	第5次総合計画には、2025年問題（団塊の世代が75歳となり後期高齢者人口ボリュームが突出する問題。）に関して敢えて触れるべきではないか。計画期間が終了するころには、本市の高齢者人口比率も高い値を示すため、超高齢社会における和泉市独自の処方箋を示すべきではないか。	○2025年問題への対策については、（総合戦略） ・元気に生涯活躍できる環境づくりの推進（重点施策13） ・支援を必要とする人への相談支援体制の充実（重点施策26）（総合計画） ・地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり（重点施策32） の取組みを推進することにより、対応してまいります。	末下委員
49	57	(重点施策13) 高齢者の積極的な社会参加と介護予防の推進	65歳以上を高齢者として一括りにするのは、現在の高齢者の現状を考えると無理がある。これまでのように65歳以上を高齢者で括り、その範囲で高齢者施策を打っていく計画のあり方では、和泉らしさが消えてしまうのではないか。	○高齢者施策については、年齢によって一括りとするものではなく、健康時、介護予防、要介護といった、状況に応じた取組みを展開することが必要であり、下記の重点施策の推進により、対応してまいります。 ・（重点施策13）元気に生涯活躍できる環境づくりの推進 ・（重点施策26）支援を必要とする人への相談支援体制の充実 ・（重点施策32）地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり	末下委員